

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公表番号】特表2003-501022(P2003-501022A)

【公表日】平成15年1月14日(2003.1.14)

【出願番号】特願2001-500744(P2001-500744)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
C 07 K	14/47	(2006.01)
C 12 Q	1/02	(2006.01)
G 01 N	33/15	(2006.01)
G 01 N	33/50	(2006.01)
G 01 N	33/566	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
C 07 K	14/47	
C 12 Q	1/02	
G 01 N	33/15	Z
G 01 N	33/50	Z
G 01 N	33/566	
C 12 N	5/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月25日(2007.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】配列番号：14に記載されたアミノ酸配列を含む単離ポリペプチド。

【請求項2】配列番号：14の残基23ないし502を含む単離ポリペプチド。

【請求項3】配列番号：14に記載されたアミノ酸配列を含む単離ポリペプチドであって：

(1) 230位におけるプロリン残基がグリシン、アラニン、イソロイシン、ロイシンおよびバリンよりなる群から選択されるアミノ酸残基で置換されているか、または241位におけるセリン残基がスレオニン、メチオニン、アスパラギン、グルタミン、およびチロシンよりなる群から選択されるアミノ酸残基で置換されており；あるいは

(2) 230位におけるプロリン残基がグリシン、アラニン、イソロイシン、ロイシンおよびバリンよりなる群から選択されるアミノ酸残基で置換されており、かつ241位におけるセリン残基がスレオニン、メチオニン、アスパラギン、グルタミン、およびチロシンよりなる群から選択されるアミノ酸残基で置換されている単離ポリペプチド。

【請求項4】請求項2記載の単離ポリペプチドの残基23ないし502を含む単離ポリペプチド。

【請求項5】請求項1ないし4いずれか1記載のポリペプチドをコードする単離ポリヌクレオチド、またはその相補体。

【請求項6】請求項5記載のポリヌクレオチドを含む発現ベクター。

【請求項7】請求項6記載のベクターを含む宿主細胞。